

## 麻田陣屋(市指定史跡)(豊中市蛍池中町)

麻田陣屋（あさだじんや）は大阪府豊中市蛍池中町（摂津国豊島郡）にあった麻田藩の藩庁である。

### 概要

麻田陣屋は元和元年（1615 年）、外様大名の青木一重によって築かれた。一重は最初は徳川家康に仕え、元龜 3 年（1572 年）家康の元を離れて豊臣秀吉の黄母衣衆となるが、元和元年に豊臣氏が滅ぶと、再度家康に召しだされた。この時 1 万石の所領を安堵され、陣屋を築いた。

青木氏は江戸時代を通して麻田の地を領し続け、14 代重義の時、明治維新を迎えた。

陣屋は阪急宝塚本線・大阪モノレール蛍池駅前西側にあるとよなかインキュベーションセンター（旧蛍池公民館）一帯にあった。東と北に堀を設けた内郭に御殿があり、会議所、柔剣道場などがあり、その周りに家臣の屋敷が軒を連ねるように囲みを外郭で作り、さらにその周囲には外堀があった。規模は南北 250m 余り、東西 190m の方形であった。

### 遺構

跡地は市史跡に指定されているが公民館が建っていて面影はない。公民館の一面に石碑が建てられている。また陣屋長屋門は市内刀根山元町に移築現存しており（市有形文化財）、また、陣屋御殿玄関が報恩寺（市内春日町）に移築され（市有形文化財）、中桜塚 2 丁目に茅葺の移築門がある。

Wikipedia による



公民館の一面の石碑



陣屋御殿玄関が報恩寺（市内春日町）に移築（市有形文化財）